

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習漢字の読み書きの力を定着させることが課題である。 ・説明的文章および文学的文章などを積極的に読もうとする姿勢を育てることが課題である。 ・長文読解問題に慣れさせることが課題である。 ・自分の考えを、相手に伝わるように表現しようとする姿勢を育てることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週に一回の漢字小テストを行うことにより、日常的な漢字の学習の習慣をつけさせる。 ・説明的文章の単元においては、文章構成のパターンをつかませ、目当てをもって読もうとする態度を育てる。 ・文学的文章においては、文章中に根拠を求めながら登場人物の心情を読み取ることを繰り返し練習し、主体的に読もうとする態度を育てる。 ・副教材を活用して、長文読解演習を繰り返し行う。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識を定着させるための指導を、継続的に行うことが必要である。 ・基礎的な知識を活用して、社会的な見方・考え方を身に付ける指導を行うことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の理解にむけて主体的に取り組む活動を行う。また知識の定着にむけ反復学習を行う。 ・学習の状況を記録し、自らの学びの深まりや変化、気づきを確認できるようにする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の基礎知識の欠落があり、道のり・速さ・時間やパーセントなどの頻出するものの定着が必要である。 ・計算力のばらつきが見受けられる。 ・文章題の誤読があるため、類題などを用いての指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎時間行っている復習テストを継続するとともに、新しい内容を扱う前に復習的な内容の確認を行い、既習事項の定着を図る。 ・数学的な文章の読み方を定着させるために、類題を用いたり、文章を分解したりして読解力を高めていくようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の結果を基に、自然の事物・現象をより正確に分析・解釈する力を高め、それをもとに論理的に推論する学習を充実させることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動や教え合う活動を通して、問題解決的な学習に取り組む。 ・実験結果から得られたグラフ等を活用して分析・解析し、自分の考えや話し合いで得られた考察を表現する学習に取り組む。その上で、比較・分類して原理や仕組みを正確に理解する学習を増やす。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や創作、器楽の活動に、積極的に取り組んでいる。 ・実技において、表現することに恥ずかしさや難しさを感じている。 ・音楽を形作っている要素とそれらの働きを表す用語や記号についての理解を深めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動においては、表現したいイメージをもたせ、音素材の特徴を生かし、音楽を作るようにする。 ・お互いに発表し合う時間を増やし、表現することを楽しむ。教え合う時間も作る。 ・音楽用語等については、プリント等を使用して少しずつ理解させる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・活発な生徒を中心に、授業では積極的なコミュニケーションが多くある。 ・個人の作品づくりなど、粘り強さや学びを深める場面で課題が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の計画と目標を取り組みやすい形で提示し、主体的に学習する態度を養っていく。 ・言語活動を充実していくことで、発想や構想を豊かにしたり、学びを深めたりできるようにする。

保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・係を中心として授業展開が少しずつ行えるようになってきている。 ・自分の課題に対して粘り強く行えない生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に係を中心とした授業展開を行って行く。 ・個々の課題に対してスモールステップができるように様々な練習方法を行って行く。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の加工学習に意欲的な取り組みがみられる。細かな作業に遅れがちな生徒の個別指導も必要である。 ・製作手順や工具の正しい使用方法を理解していない生徒の指導が必要である。 ・授業中は積極的に作業に取り組む生徒が多い。 ・作業を通じた基本的技能の習得は全体的によくできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の製作状況を見ながら生徒に適切なアドバイスと机間指導をする。 ・製作手順や工具の使用方法をわかりやすく説明をして学習課題に取り組みさせる。 ・製作手順や縫い方など全体の指導では理解できない生徒には個別に指導する。 ・レポートの作成等、実際に行った作業を振り返らせることで、知識の定着を図る。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での英語活動の経験から、英語の音に慣れ親しんでいる生徒が多く、意欲的に取り組む。 ・「やり取り」は、基礎的な表現を用いることはできるが、発展的な表現や内容の幅に大きな個人差がある。 ・「書く・読む」へのつながりにつまずく傾向が見られ、基礎的な知識の習得が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字と音声とを関連付けるため、音読の反復練習やペアワークを継続的に行う。 ・基礎的な内容に加え、自分らしさを表現しやすい題材や興味をもてる題材を準備し、「やり取り」の活動を充実させ、意欲の向上につなげる。 ・英語ノートやワークシートを使って英文を書くことに慣れさせ、基礎知識の定着を図る。